

事業所名

チャイルドサポートたからづか

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

4月

1日

法人（事業所）理念		全社員及びその家族の物心両面の幸せを追求する。			
支援方針		ビザライに関わる全ての人の笑顔を増やす。			
営業時間		授業日 13時30分から17時30分まで	送迎実施の有無		あり なし
		休業日 10時30分から16時30分まで			
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調管理に気を付けてデイですごく。疲れた時は静養室でゆっくりする。</li> <li>・生活に必要な作業療法（洗い物、テーブル拭き、タオルたたみ、お箸の袋詰め、針と糸を使用しての手芸、編み物など）に取り組む。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別療育の中で感覚遊びを取り入れた療育（動物キャップ仕分け、スーパーボール色分け、ホワイトボードを使ってお絵描きしながらシンクロ描画）</li> <li>・だるまさんがころんだ、ポッチャ大会、ストレッチ体操など取り入れた集団活動を実施する。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出先で普段できない色々な体験を通して自立に向け経験していく。</li> <li>おかしの製造施設、ビール工場、ヤマト運輸工場、飲食店（ファミリーレストラン、ラーメン店、ファーストフード）等を利用して家族以外の人との行動を共にする中で新しい経験や体験を積んで今後に活かしていく。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつやコミュニケーションを取りながら物事の理解や人と人とのつながりを深めていく。</li> <li>・コミュニケーションが苦手な児童に交換ノートで会話をする。児童同士の手紙交換を行って気持ちを伝える。</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団で活動しながら、関係性を築いていく。</li> <li>・外出支援のなかで色々な体験や経験を積み重ねて一人ひとりの社会性を養う。</li> <li>カラオケ、映画鑑賞、買物支援を通して児童同士のつながりを深めていく。</li> </ul>			
家族支援		モニタリング時に相談事など話を聞く。外出時の動画・写真をメールで保護者に共有。	移行支援		移行支援事業所との連携、セミナー参加
地域支援・地域連携		研修会など参加して情報共有を行う。相談支援事業所との情報共有。学校への参観訪問。	職員の質の向上		職員1人ずつ課題をあげて月一回の勉強会を行う。障害について、児童の服薬、児童のアセスメント情報、加算の勉強、感染症・AED講習会など
主な行事等		音楽療法、調理実習、子どもの日イベント、ハロウィンパーティー、紅葉見物、クリスマスイベント、初詣、節分行事、工場見学、避難訓練（年2回）			